



# 住みよい幸せな国づくり

NPO 法人  
日本・デンマーク  
生活研究所【会報】  
第17号(2016年1月)  
発行人 千葉 忠夫

## 2016年の年頭にあたって

理事長 千葉忠夫

希望に満ち満ちた新しい年を迎えることが出来たことを皆様とともに喜び合いたい。

毎年新年ごとに、私たちのNPOは日本の国民が安心して生活でき幸せになることを願い、そのモデル国としてデンマークを選び幸せへの道を模索してきている。私は幸せへの道は幸せへの方程式を解くことに意義があるとつくづく思う。ただし、この方程式は数学的に解き解釈するのでは意味がない。新年に当たりあらためて福祉の方程式を紹介し説明したい。

**\* 幸せな国 = 生活大国 = 社会福祉国家 = 民主主義 (主権在民)の国 = {自由+平等+博愛(=共生+連帯)}**

\* 幸せな国=住み良い国=生活大国：住み良い国とは国民の生活に不安がないこと、すなわち国民が安心して生活できる国のことである。

\* 社会福祉国家：社会的に弱い立場にある人ばかりの生活を保障するのではなく国民全ての生活を「揺籠から墓場まで」保障している国である。例えば医療、教育、老後の保障は国民に安心感を与え生活しやすい国の要素となる。

\* 民主主義の国：言葉のみの民主主義ではなく日常生活に溶け込んだ、国民が実感できる民主主義、即ち主権在民が徹底していることである。主権在民を実際に行使できるのは言うまでもなく選挙である。国会議員の選挙で投票率が50%を切るということは国民の半分が主権を放棄していることであり民主主義を否定しているのも同然である。知事、地方議員の選挙では投票率が40%を切るなどは論外である。民主主義は住民に身近なところで行われる政治に興味があり、故に地方分権は国民が実感する民主主義なのだから地方選挙への積極的参加を促したい。

\* 民主主義は、フランス革命で謳われた自由・

平等・博愛そのものである。私たちは自由・平等はなんとなく理解していると思うが博愛を理解する人は少ない。博愛は英語で Philanthropy と表わし、これまた不可解な言葉だ。Humanity と表わすとより人間性として分かりやすいが人間性とは何かという新たな疑問にぶつかる。博愛はデンマーク語で Broderskabe と表わされ「兄弟愛」と理解されている。博愛が兄弟愛なら皆さんも身近なものとして理解し易いと思う。肉親の愛から他人への人類愛に繋がっていくからである。

\* 博愛：兄弟愛(姉妹愛)は人間社会の共生・連帯につながるものである。

私は各地のセミナーで福祉の方程式を紹介し参加者の皆さんとこの方程式と一緒に解いてきた。参加者の皆さんは方程式に出てくる言葉を自分のものと実感し理解してくれていると信じている。

しかし、方程式の結びの言葉博愛は共生であり連帯であると言う事が日本の皆さんからどうしても理解を得られないような気がしてならない。幸せな国デンマークは博愛、兄弟愛の国ゆえ共生、連帯社会なのである。特に連帯は社会福祉国家を支える大きな力なのである。社会福祉、社会保障には莫大なお金がかかる。かかるお金をデンマーク国民は税金として国に払い、国(社会)は国民の生活を transfer payment (収入の再配分) により保障しているのである。社会福祉、社会保障のキーワードは共生と連帯なのである。連帯感は納税に繋がり、その国家収入で社会保障が為されるのだ。私が各地でのセミナーで参加者の皆さんにデンマーク並みの社会保障を実現するためにデンマーク並みの税金を払いますか？ 直接税として収入の40%~50%、消費税 25%を払いますか？ と問うと、参加者のみなさんの答は決まって「政治家が信用できないから払わない」。何をか言わんや！

民主主義は何処に？ 主権在民は何処に？ 博愛・連帯は何処に？

「幾山河超え去り行かば寂しさのはてなむ国ぞ今日も旅行く」

当NPO法人「日本・デンマーク生活研究所」は、本年度九州、関西、東北と各ブロックの横の連帯に力を入れていきたいと願っている。2016年、新たな年の新たな前進に期待する年でありたい。

## ～Weekend Folkehøjskole in Chiba 第6回研修塾の報告（承前）

副理事長 茂木俊郎

シンポジウムは千葉忠夫理事長の講演から始まりました。要旨は前のページの年頭の挨拶に語られている内容です。

次はミゼルファート市のジョブ・センターに勤務するピア・ジャンセン（Pia Jensen）さんがデンマークの労働事情について講演しました。前回の岩田氏の講義と重なる部分もありますが、要点を紹介します。

★同市のジョブ・センターには102名の職員がいる。内訳はジョブ・コーチ24名（企業で障がい者を指導）、事務職員が19名、主任相当職員7名（〇〇課長など）、医師1名、臨床心理士2名、理学療法士1名、ケースワーカー48名、である。更にピアさんが来日している間に増加する難民対策で5名の増員があった。

★デンマークの人口500万人の約半数が労働人口で、知的な障がいのある人は約5万人いる。

★デンマークで労働組合への加入は任意であるが、失業に備えてほとんどが加入する。組合費は月504クローナ（以下kr）約1万円、失業保険料は月427kr約8千5百円だが、課税に際して控除される。一年以上加入していれば失業保険は月34～35万円支給される。非加入の人でも1420kr約28万円支給される。これは課税される。組合は約20ある。最近組合に入らない若者が増えている。

失業保険は長くて2年間支給されるが、その間に就職活動をしていないと打ち切られる。就職活動は報告義務があり、失業後半年たっても就職できなければ、ジョブ・センターは違う職種の実習の場所を紹介する。拒否すれば支給は打ち切られる。

病気で離職した場合は同等の手当が支給されるが就職活動はもちろん不要で、治療の努力が求められる。

★今は、知的な障がいを持つ人も、自分でできる仕事を探す。行政はジョブ・コーチを職場にも入れて、仕事のやり方を教えるなど就労できるようにしている。1990年代から知的な障がいのある人の採用が奨励されるようになったが従業員の何%



を採用しなければならないという義務はない。会社も社会の構成員であり、障がいのある人も無い人と同様に扱う。大きい国ではないので職場も少ないが、障がいのある人も普通の人と同じように暮らせるようにと務めている。

ミゼルファート市は人口4万弱だが、46の会社がジョブ・センターとタイアップして、知的な障がいのある人を雇用している。

★知的な障がいのある人は状況に応じて例えば週2時間だけ働くこともできる。1か月を4週半とすれば、ある人たちの例では

Aさん 時給170kr×2h×4. 5w=1530kr 約3万円

Bさん 時給102kr×2h×4. 5w=918kr 約1万8千円

である。週2時間の労働が、社会の役に立っていると感じられ、生き甲斐になっている。もちろんこの金額では生活できないので障がい年金と併せて約30万円の月収が保障されている。

★知的な障がいのある人が10時間働いて、障がいの無い人の8時間分の実績を上げたとすれば会社は8時間分の給料しか払わない。

★ジョブ・センターは、障がいのない人の就労支援、失業保険の取り扱い、障がいのある人の就労支援などを行っているが、彼らに指示や命令をするのではなく、相手が望むことを確かめて手助けする。

生き甲斐という言葉で思い出したのは、数年前日欧文化交流学院長だった銭本さんに案内されて見学した障がい者の作業所で軽作業に携わっている人たちが、皆明るく生き生きとしていたことでした。中には見学を拒絶する人もいたようですが、ほとんどの人は今やっている仕事について嬉しそうに説明してくれました。

最後に岩田克彦氏が「デンマークの障がいのある人たちの就労支援と教育訓練」について講演しました。やや専門的であり、A4で8ページに及ぶレジюмеは要約しにくいので、能力・適性を適切に知りフレキシブルな働き方で就労を支援・促進していることだけを報告しておきます。ピアさんの講演からも就労の仕方については推測できると思います。どうしても岩田氏のレジюмеを欲しい方はご相談ください。

次いで活発な質疑応答が行われました。主要な

回答を紹介したいと思います。

★デンマークの政治は世界一、透明度が高い。高税で高福祉であることに85%が満足と言っている。自分たちが納めた税がしっかり返ってくることは政府が現実の政治で証明しているし、国税局が毎年税の使い道を公開しているので、税の無駄遣いということは聞いたことがない。★2013年度の雇用・就業政策に関する政府支出の対GDP（国内総生産）比は、日本0.59、アメリカ0.35、ドイツ1.67、デンマーク3.49である。日本は地方自治体の支出が加味されていないとはいえ、極端に低いことが分かる。公共の職業訓練に関する政府支出を見るとGDPの日本は0.03、デンマークは0.53と大きな開きがある。★デンマークのマイ・ナンバー制度は1970年代に導入された。現在、医療も銀行も役所も、すべての事務処理がマイ・ナンバーで為されている。マイ・ナンバーが記された医療カードを持っていれば、ヨーロッパの何処で病気やケガで倒れても、初期治療を受けられるしデンマークまで送り届けてもらえる。マイ・ナンバーが悪用されたという話は聞いたことがない。（MM氏）留学時の体験を報告すると、就学ビザで入国し、日欧文化学院に着いて間もなくデンマーク人と同じ医療カードが支給され、月6万円の奨学金も申請しないのに支給の通知があった。（ナンバーで掌握しているの？）申請の必要はない。★日本人の納税、教育費、医療費、年金保険、老後に備えた貯蓄などを合わせれば、デンマーク人の税負担ととんとんではないかと思う。（そうは言ってもデンマーク人は所得に応じた課税であるのに対し、日本人は教育費や保険掛け金は所得に関わりなく払うことになるので、収入に対する支出の割合はとんとんではないかと思います。）デンマーク人は貯蓄の必要がないので、貯蓄はしない。★教育費の対GDP比は日本では公的負担3.3%、私的負担1.7%、計5.0%だが、デンマークでは公6.7%、私0.6%、計7.3%である。なおOECD平均は、公4.9%。★平均年収は手取り335,300kr（約670万円）子どもが2人いる夫婦の平均年収は884,600kr（約1770万円）である。（子どもは18歳未満の子どものことです。18歳以上のデンマーク人は学生であっても障がいのある人であっても、親の扶養を離れて独立した生計を営みます。）

★デンマークも二院制だったが、人口も少なく、政治的対立も少ないので、十数年の議論を経た後一院制に移行した。

★デンマークでは生涯に5～6回転職するのは普通である。ある会社の社長や課長、校長などが退職したら後任は副〇〇や次長が昇進するのではなく、公募する。従って転職が普通のことになるわけだ。

退職金は存在しない。企業の倒産による場合には15年勤続で1か月分といった僅かな退職金が定められている。

失業保険を受給しながら2年経っても就業できない場合は生活保護を受けることになる。

★国民総年金であり、65歳から皆同額の年金が支給される。月約10万円で、独居老人には10万円が増額される。年金にも課税される。高齢者住宅の家賃は月8万円程度なので手元に残る生活費は少ないが、住宅援助金や交通費の割引など、行き届いた配慮がなされている。

★所得税は普通の人で40～50%の累進課税。とても収入の多い人で60%ぐらいか。

★生活支援が行き届いているので国民が怠け者になるのではないかと言われたこともあるが、怠けている人にはお金を支給はしない。（国民も自分たちが納める税が福祉国家を支える財源であり、怠惰になれば生活支援が崩壊することを十分に理解しているのだと思います。）

★[とても羨ましい。私がデンマークに行ったら何年ぐらいでデンマーク人に成れるか、という質問に]成れない。7年いると国籍取得を申請できるが、旅行者は7年も滞在できない。滞在ビザを取得する、デンマーク語を不自由なくしゃべれる、デンマークについて深い知識があるかのテストに合格する、という関門がある。

デンマーク人と結婚した日本人で国籍取得をあきらめた人はかなりいる。10年以上滞在すれば国籍が無くても年金は支給される。

★デンマークにももちろん悪いところはあるが、それを話したところで何の役に立つわけでもないから私は良いところしか話さない。ある国を住みよい国にするために必要なのは、その国の民度を高めることだ。……と千葉理事長は締めくくりました。その夜はグループワークで、今年も熱心な話し合いが行われました。

その結果と参加者の感想はさらに次号に続く、とさせていただきます。



## 日欧文化交流学院からのお知らせ

日欧文化交流学院前理事長 千葉忠夫

① Nordfyns Folkehøjskole は Nordfyns Højskole が正式名称になりました。私自身は Folke に愛着がありますので、呼称は併用しています。

① 日欧文化交流学院は、2005 年から現在まで Nordfyns Folkehøjskole と共存していましたが 2016 年 1 月 1 日付をもちまして Nordfyns Højskole の傘下に入り日本人短期研修部となりました。研修部は立枝百代 Jørgensen が長を務めます。

② 茂木寮 5 月に落成予定、短期研修が楽しくなります。

これまで学院では福祉、医療、教育をテーマに短期研修を実施してきましたが、Nordfyns Folkehøjskole の立地条件を大いに生かし、茂木寮に滞在して学校近辺でゴルフ、乗馬、釣りなどを楽しみながらフォルケホイスコーレの世界に入り世界各地からの異文化と交流できます。同趣味で 5 人以上の方が集まれば短期研修生として 5 月から 11 月までの間、1 週間単位で受け入れます。お問い合わせは Momoyo Jørgensen

E-mail, momoyo@nordfyns.nu まで。日本語で対応いたします。短期研修部のホームページは <http://nordfyns.nu/ja/forside/kortkursus/>

ところで、茂木寮。すご〜く耳に響きの良い言葉ではありませんか？ 平らな大地に木が茂る寮なのです。どんな寮なのでしょう？ 寮と聞くと旧制中学や旧制高校の「寮」あるいは会社の寄宿舎などを思い浮かべませんか。その寮生活は何となく堅苦しさを匂わしているような気がしますね。

ここデンマークのボーゲンセに在る Nordfyns Folkehøjskole の敷地内に創設される寮の名を茂木寮と呼ぶのです。フォルケホイスコーレはもともと全寮制の学校じゃないですかと思われる方もいると思います。しかし、日本の寮との大きな違いはデンマークの寮は民主主義を育てる生活共同体なのです。

それでは何故茂木寮が創設されるのか、経緯を説明しましょう。茂木という名を聞いて皆さんは

当 NPO の茂木副理事長のことと気付かれたと思います。1980 年代当時茂木さんは日欧文化交流学院設立後援会長をしていましたが、何といっても一番の課題は資金集めでした。沢山の方々から支援金を頂き、数人の方からは 5 年間無利子で高額な金額を借用することが出来ました。お陰で学院は 2005 年にデンマーク文部省の正式認可を受け Nordfyns Folkehøjskole として発足することが出来ました。高額を借用した方々には 2010 年 1 月 31 日の返済期限までに全額返済することが出来たのですが、茂木さん(ご夫妻)は学院に寄付して下さると言いました。ご厚情を活かしたく理事長と相談した結果、「茂木基金」を設立し、日本からの留学生の奨学金に充てようと、デンマーク内務省に登録しました。ところが今年になって内務省の省令が変更され内務省が認可する基金の必要額を満たさないで基金認可取り消しの通知を受けました。茂木さんから頂いたご芳志を私は最大限後世に残したいと願いました。Nordfyn Folkehøjskole には年間約 300 名の社会福祉関係短期研修生が訪れますが学校内の寮は長期滞在の学生で常時満杯のため、日本からの短期研修生は町のホテルに宿泊していただく状態が続いておりました。私の頭にひらめいたのは「茂木寮」、私は茂木さんと事前にご相談した上で校長の Mogens Godballe と話し合い日本人短期研修生のための寮を創設しようと意見の一致を見、理事会もこれを承認、茂木寮建設の槌音が晩秋のボーゲンセ(忘現世)に響いております。

## 総会・研修塾等の日程

デンマーク研究会(仙台) 2016 年 2 月か 3 月に予定。正式に決まったらメールマガジンでご案内します。

デンマーク研究会(東京) 年 10 回程度。詳細はメールマガジンでお知らせしています。

2016 年度総会 5 月 21 日土曜日。詳細は 4 月にお知らせします。

第 7 回研修塾(鹿児島) 9 月 16 日(金)~18 日(日)に、二泊三日で開催。詳細は 7 月にお知らせします。

皆さまご多忙と思いますが、新しい予定表に加えておいていただくと幸いです。

編集後記 ★編集担当として、茂木寮紹介は取り扱いに困った。面はゆくて仕方ないが、敬語表現を外して載せることにした。竣工後活用されることを期待しよう。☆9 月 15 日米国パークレー市議会が全会一致で辺野古の新基地建設反対を決議。☆沖縄の歴史、県民の心情を考えると共に、新基地建設は米国憲法に反する、と。☆近くホノルル市議会も同様の決議を予定しているという。★翻って我が国の自治体。政府・与党の有無を言わせぬやり口を黙って認めてしまったら明日は我が身とならないか。基地に苦しむ沖縄の声に連帯する自治体は何処かにないのか。(茂木俊郎)

発行所

〒292-0801

千葉県木更津市請西 4-6-9

Tel: 0438-36-3565

お問合せ Tel 090-9827-9262

茂木俊郎

NPO 法人ホームページ

<http://www.djsli.com>

メールマガジンの申し込みはホームページからお願いします。

